

-Monthly News Letter-



BEIJING

TOKYO

SHANGHAI

DELHI

GUANGZHOU

BANGKOK

HO CHI MINH

SINGAPORE

What's on **today?**

- November 2011 No.25-

TOKYO

BEIJING

SHANGHAI

GUANGZHOU

BANGKOK

HO CHI MINH

SINGAPORE

DELHI

What's on today?

-Monthly News Letter-

- November 2011 No.25-

世界を魅了する日本のアニメーション！

アジアはもちろん、ヨーロッパにまで進出する日本のアニメパワー！

日本のアニメーションは、1970年ごろから世界へ進出し、Japan-animation から Japanimation という略語まで生まれるほど、世界中の人々から人気を集めた。

その頃は、まさに本や映像だけの見て楽しむものだったが、現在では日本と同様、ゲームやコスプレなど、楽しみ方も多様化している。そこで今回は日本のアニメが世界中でどのように楽しめているのかをレポートします！

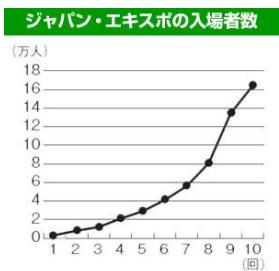


ヨーロッパ最大規模を誇る「JAPAN EXPO」がフランスで開催

JAPAN EXPOは、毎年7月フランス・パリで行われる日本の文化を紹介するヨーロッパ最大級の展示会。

マンガ・アニメ・ゲームを中心とし、音楽・モードを含めた日本のポップカルチャーと、書道や武道・茶道・折り紙などを紹介しているようですが、実際はそのほとんどがアニメやゲームが中心のようで、2010年の来場者はなんと17万4千人を記録。

日本のアニメ人気のすごさがうかがえます。2時間3時間の入場待ちはざらのようです！



フランス以外でもヨーロッパ各地で日本のアニメイベントが開催

London MCM Expo



フィンランドブックフェアレポート



パリマンガ2011
ファッションショー



クールジャパン！みなさん知っていました？



●「クールジャパン」、海外発信ヘロゴマーク発表

政府の知的財産戦略推進事務局は13日、「クールジャパン」(かっこいい日本)を発信するためのロゴマークを発表したようです。日本のアニメやファッション、日本食など、海外で人気のある商品や文化を売り込み、「日本ブランド」の価値を高める狙いで、企業や団体などに活用を呼びかけている。

ちなみにロゴマークは、アートディレクターの佐藤可士和さんがデザインしたらしく、東日本大震災を乗り越え、「次の新しい日本」へ突き進むスピード感や、躍動感をイメージしたそうです。

そして日本では、大人から子供まで、絶大な人気を誇る「機動戦士ガンダム」のプラモデルイベント『ガンプラEXPO WORLD TOUR JAPAN 2011』が開催された！

2011年11月4日～6日の3日間に渡り、ガンプラEXPOを開催！

意外にも、秋葉原での開催は初めてとなるガンプライベント。

今回は、秋葉原のUDXというビルの2F、アキバ・スクエアにてEXPOを開催し、ガンプラの展示を中心にイベント限定品を含む12アイテムのガンプラの販売を行った。



来場者は3日間で15000人を超え、用意された限定品もほぼ完売状態だった。



ガンプラEXPO内で行われた『ガンプラ ビルダーズ ワールドカップ』日本代表決定戦！

3日間で行われたガンプラEXPOの目玉の一つとして、ガンプラの日本一を決める決選投票が行われた。会期中の一般からの投票と審査員による投票で、日本代表を決定し、表彰式が行われた！



アジアを中心にオーストラリア、イタリア、北米など、世界13の国と地域から代表作品が集まり、12月25日に香港にて決勝大会が行われる！

優勝するのはいったいどこの国の代表なのか？



日本の代表作品は上記作品
テーマは「願い」だ！



我々30代～40代の大人から子供まで、世界的に人気のガンダムのアニメーションはもちろん、ガンプラの人気も世界中に広がっている！俺も仕事してないでつくろ！

TOKYO

BEIJING

SHANGHAI

GHUANGZHOU

BANGKOK

HO CHI MINH

SINGAPORE

DELHI

What's on today?

-Monthly News Letter-

- November 2011 No.25-



インドの新作映画

ボリウッドのトップスター、シャークル・カーン主演の新作SF映画『RA・ONE(ラー・ワン)』を鑑賞してきた。日本では一般的に映画の公開初日は金曜日や土曜日に設定されることが多いが、本作はインド最大の祭典「DIWALI(ディワリ)」の開催日である10月26日の木曜日に公開された。

10月最後の日曜、私は弊社社長の家族と一緒に映画館へ出かけた。社長の息子さんは直前にインターネットで調べていたらしく「レビュー見たんだけどさ、評価が星2つだったよ。もうチケット買っちゃったのになあ」と溜め息。それでも私は、インドに来てから初めて映画館に出かけることにワクワクしていた。

【ストーリー】

ゲームデザイナーのシェーカル(シャークル・カーン)は職場でも家庭でもドジばかり。ある日、息子のプラティーク(アマン・バルマー)から「悪役が強いゲームを作ってよ」と言われたことから『RA.ONE』(Random Access Verson 1.0の略)という悪役の強い格闘ゲームを開発する。プラティークはデモプレイで悪役「RA ONE(ラーワン)」を倒すが、ラーワンはプラティークに勝ちたいという執念からゲームの世界を飛び出し、現実世界でプラティークとその母親のソニア(カリーナ・カプール)を追い回す。絶対絶命になった二人が諦めかけたとき、シェーカルに姿を似せたヒーロー「G.ONE」が現れた。

【ラーワンという名の悪役】

本作の悪役であるラーワンは、インドの有名な叙事詩『ラーマーヤナ』に登場する敵役の大ボス「ラーヴァン」からきている。ラーヴァンは主人公「ラーマ」の妻である「シーター」を奪い、城でラーマを待ち受けるといったクッパ大王のようなキャラである。対してヒーローのジーワンは「良い奴=Good one」から名づけられている。

インドでは9月下旬、季節の変わり目を祝う祭りでこの『ラーマーヤナ』の舞台劇が上演される。大人も子供も連日、この劇を見るために深夜まで(だいたい午前1時くらい。翌日の会社や学校は大丈夫なのか?)祭りに参加している。

本作においては「悪役の名前はどうしようか?」と会議している時、シェーカルの同僚が「ラーワンとラーヴァンが似ている」といった具合に決まっている。インド人にとってラーヴァンとは、中国人にとっての曹操、日本人にとっての吉良上野介といったように、悪役や敵役の代名詞であるようだ。

【どっかで見たような？】

悪役が子供とその母親を追い回し、救いのヒーローが彼らを守る。どっかで聞いたことのある話である。

いや、確実に『ターミネーター2』じゃないかと。また、普段は見えない男がヒーローとなって活躍する。

これも『スーパーマン』と同じである。こうしたストーリーの類似性は、単純に見てしまえばヒット作のなぞり書きとも思えるだろう。しかし考え方を変えれば徹底的に大衆ウケを狙い、老若男女が楽しめるエンターテイメントにしようとしているとも考えられる。



『ROBOT』でのラジニ・カーント

本作の前に有名になったインドのSF映画といえば『ROBOT(ロボット)』である。

この作品で主演を務めたラジニ・カーントは本作にも登場している。

「ロボットと比べてRA.ONEは云々…」とつい比較してしまうのは人情というものだろう。それに応えてか、はたまたその心理を利用しようとしてか、劇中にはロボットのChitiが登場してG.ONEと競演する。この場面で劇場内のテンションは一気に上がり、歓声を挙げたり、指笛を吹く人までいた。インドの映画館ではこのように、観客は正直に笑ったり喜んだりする。

『ROBOT』と比較すると『RA.ONE』はインド色が低いと感じられる。まず、主人公家族はインド人だが、住んでいる場所はイギリスのロンドンである。インド映画のお決まりである3時間近い上演時間であることに加え、その“原因”でもある歌と踊りのシーンも含んでいるが、本作では3回と、他のインド映画に加えると少ない。

ROBOTが東京国際映画祭で上映されるなど、インドのSF映画は世界的な注目を集めている。おそらく製作側は海外への進出を意識して、ミュージッククリップの回数と時間を削り、かつストーリーと同期させることで、世界的に受け入れやすいように作ったのかもしれない。それが逆に、インド国内の観客からすると物足りなさがあるようだ。嘘か真かこんな噂がある。近年の経済成長によってインド人も時間がなくなってきた。「3時間も映画を見ている時間はない！」と都市の映画館が、ヒット映画のミュージックシーンをカットして上演した。しかし劇場では閑古鳥が鳴いていた、と。

下世話な話だが、インドの夜のお姉さんには、日本の「コスプレ」と同じような要領で「ダンス」というオプションがあるようだ。だが単に客の前で官能的なダンスを踊るだけらしいが、そこにどういった魅力があるのか日本人の私には理解できない。よく聞く話では、インド人の客引きが顔を真っ赤にして「なんと、ダンスも付くぞ…」と、あたかも非常に恥ずかしい事のように提案するそうだ。この噂の真偽は不明だが、インド人にとっていかに“踊り”が重要なのかがうかがえる。

あるレビューサイトは本作を「高級レストランのお子様ランチのような映画」と喻えていた。確かにCGやVFXの完成度は高いが『ROBOT』のような、ある意味で“インドらしい”振り切った感は無いし、まずビデオゲームを題材にしているところからして親世代の大人にウケるかどうかは微妙なラインである。

ちなみに主演のシャールク・カーンはボリウッドのトップスターで45歳。そんな彼が子供向け(?)のアクション映画に挑戦するのだから驚いた。日本で言えば、キムタクが二宮くんを蹴っ飛ばして『GANTZ』に主演しちゃうようなものである。残念、『RA.ONE』の日本での公開はまだ未定らしい。

DELHI

DELHI Saptam Film Prodtions India
(Saptam International)
Phone +91-11-32532503 Fax:+91-11-28741116

BANGKOK



T-LIVE BANGKOK Co.,Ltd
Phone +66-(0)2-716-8501 Fax +66-(0)2-716-8502

SINGAPORE



CONCEPT 360° PTE LTD
Phone +65-6887-5595 Fax +65-6887-5991

TOKYO



T-LIVE Co.,Ltd
Phone +81-3-3537-0234 Fax +81-3-3537-0236



SP-RING Co.,Ltd
Phone +81-3-5543-2215 Fax +81-3-5543-2216

BEIJING



SP-LIVE International BEIJING Co.,Ltd
Phone +86-10-6409-7531 Fax +86-10-6409-7503

SHANGHAI

SP-LIVE International SHANGHAI Co.,Ltd
Phone +86-21-6472-5140 Fax +86-21-6472-5170

GUANGZHOU

SP-LIVE International GUANGZHOU Co.,Ltd

HO CHI MINH



AAB INC.
Phone +84 838 181 391 Fax +84 838 181 392